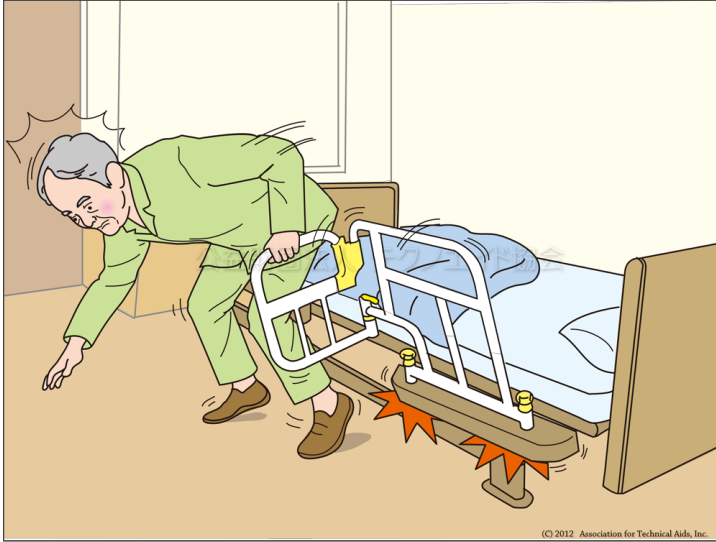


Case : 46

ベッド用グリップにガタツキが生じ、利用者がバランスを崩し、転倒しそうになる

場面の説明

差し込み口のねじがゆるみ、ベッド用グリップをつかんだ際、前のめりになった



利用シーン	 起居・就寝  立ち座り
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイドレール, ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

ベッド用グリップを差し込む受け口は、日常的に取り外しなどのねじの操作をする部分ではありませんが、使用頻度などの条件によってはねじがゆるむことも考えられます。また、設置時のねじの締め忘れも考えられます。ちょっとしたガタツキでも気になる点があれば、メンテナンスを依頼するよう心がけてください。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ガタツキが生じていることに気づかない
- モノ：使用によって緩みやすい構造のネジであった
- 管理：定期的に締め付け具合等を確認する約束事が作られていない

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 46

ベッド用グリップにガタツキが生じ、利用者がバランスを崩し、転倒しそうになる

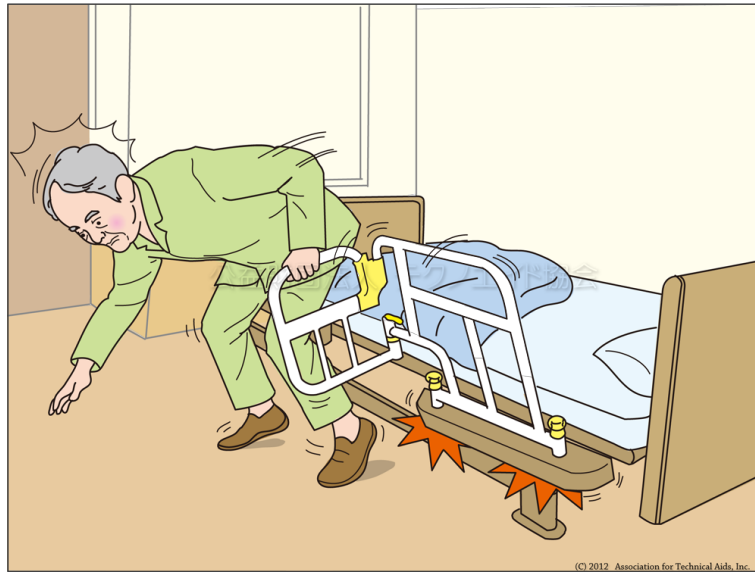
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

差し込み口のねじがゆるみ、ベッド用グリップをつかんだ際、前のめりになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ